



好学愛知 自律敬愛 質実剛健

鶴丸イ言

3月の行事予定

3月		金	堂
1	水	第68回卒業式	x
2	木	1年救命救急法短期講習	○
3	金		○
4	④	1年スタディサポート	x
5	⑤		x
6	月	全校朝会 入学学力検査場設営 40分6限授業 7限目カット	○
7	火	入学学力検査 国公立大学中期日程試験	x
8	水	入学学力検査	x
9	木		x
10	金		x
11	⑪	悠学講座⑪ 国公立大学後期日程試験	x
12	⑫		x
13	月		x
14	火	学校安全の日 スクールカウンセリング	○
15	水	合格者発表	○
16	木	合格者集合	○
17	金	第12回職員会議 1,2,3,6限の授業	x
18	⑮		x
19	⑯		x
20	㉠	春分の日	x
21	火	スクールカウンセリング	○
22	水	合格体験を聞く会(7限)	○
23	木	職員研修 40分7限授業	○
24	金	終業式 大掃除	x
25	⑮		x
26	⑯		x
27	月		x
28	火	離任式	x
29	水		x
30	木		x
31	金		x

大相撲初場所、初優勝し第七十二代横綱に昇進した稀勢の里関は、手記の中で「腐らず頑張り続けることに意味があり、諦めたらそこで終わらな。と述べている。そして、自分自身を早熟で晩成、不器用だけ一つのことをやり続ける能力は高いと分析している。この稀勢の里関の姿勢には可能性の扉を開くヒントがある。鶴丸を築立つ今、君たちの扉は開かれただろうか。

これは、鶴丸で学んだことを土台に様々な問題に正面から向き合っている。世の中の諸問題には決められた正解はない。問題に直面している者がどのよう判断し行動するかで決まるのである。君たちには、「困難に挑戦する勇氣」、「変化を恐れぬ勇氣」、「失敗を恐れず決断する勇氣」の三つの勇氣を持ち続け、社会に貢献できる人物となることを期待する。

次の君へ

三学年主任 石谷 洋一

優しい春の風に吹かれて舞う桜の花びらに迎えられ、君たちが期待に胸を膨らませて正門をくぐってから早三年の月日が流れた。小さな大人として入学した君たちは、高校生活を通して、将来の夢や目標に向けて努力することの大切さを学び、これから社会の中で活躍するための礎を築き、大人の階段を着実に昇り続けている。

入学して間もない頃、「可能性の扉を開け」とメッセージを送った。そこには、夢の実現に向けて新たなステージに立った君たち、困難を自らの力で克服することのできる心の強さを身につけて自己を成長させてほしい、そのための日々の取り組みが様々な可能性の扉を開いていくことを体感してほしいとの思いがあった。



君の扉を開ける鍵はいつも君のポケットの中今開けば ほら目の前に「次の自分」

この「次の自分」こそがそれぞれに目標や夢であり、その実現のために

している。何事にも積極的に挑戦し、成功体験だけでなく、失敗の中からも学ぶ姿勢を忘れず自己の研鑽に努めてほしい。その姿勢がこれからの社会を支える人材としての君たちを、大きく成長させてくれるはずである。

君たち六十八期生は、甲鶴戦や体育祭で勝利をつかみ取ることはできなかった。しかし、その勝利を目指し熱い思いは、級友との間に強い繋がりを生み、様々な学校行事においてクラスや学年をひとつにしてきた。そこで生まれた友情は、互いを認め信頼し合える大切なものとして卒業後も続いていくことだろう。

今年、センター試験の下見に向かう君たちをG R e e n の「扉」という曲で送り出した。その曲のラストには次のような歌詞がある。

最優秀賞に西村さん、 高校生の思いを語る。 第二十三回 校内弁論大会

二月十三日、校内弁論大会が開催されました。創立百周年を記念して実施された弁論大会も、もう二十三回を数えます。今年も各クラスでの代表決定弁論、そして各学年での審査を勝ち抜いた六名が、それぞれの熱い思いを語りかけてくれました。

今回、学年審査を通過した六名と演題は次のとおり。

- ・益満朋佳さん(26R)
- ・「窮地から、飛べ」
- ・並河咲希さん(25R)
- ・「人工知能と心」
- ・西村優奈さん(22R)
- ・「17 セブンティーン」
- ・塚田秋葉さん(13R)
- ・「真の努力について考える」
- ・岡本 葵さん(12R)
- ・「Try something new」
- ・沼田文来さん(16R)
- ・「失う前に」

思いがけず全員が女子でしたが、それぞれが個性のある主張を、個性のある表現方法で発表しました。

力を注ぐことが何より大切なことであると教えてくれているのではないだろうか。扉を開けるチャンスは必ず訪れる。そのチャンスを活かすためにも、日々の生活の中でしっかりと準備を重ね、「次の自分」に出会うための扉の鍵を手に入れてほしい。

さあ君たちの新しい道が始まる。三年間で培った「For othersの精神」を忘れることなく、何度失敗しても成功するまでやり通す強い思いを持って、自分の道をひたすら進んでいこう。そして、それぞれの人生で自分の色の大きな花を咲かせよう。

自らの失敗から学んだことや社会全体が流れる方向への不安、家族を失った体験がもたらした自らの決意……。十六、十七歳のみずみずしい感性で描かれた飾らない主張が多く、「等身大の主張」といふべきものが多かったようです。審査にあたった職員の一人名は「主張は明瞭でわかりやすく、聴衆の心に直接的に語りかける点は、どの弁論も素晴らしい。しかし、もっと論展開に工夫と緻密さがあったら、もっとよいのではないかと評していました。

冬休みに一、二年生全員が原稿を書いて、学級での代表決定と学年での審査を経てきているだけに、生徒たちも身を乗り出して聴く姿さえ見られるほど熱心に聴き入っていました。

生徒審査員十名と職員審査員八名の審査の結果、最優秀賞に西村優奈さんが、優秀賞には並河咲希さんと岡本葵さんが選出されました。



世界にはばたく若鶴を、同窓会が応援。NY在住の先輩方も楽しみにしています。

参加費用はなんと0円。これは、同窓会の先輩方が、グローバルな視点を学ぶ意欲のある生徒たちに対して、ぜひとも心おきなく学んでほしいという思いの現れです。

現一年生と新入生(平成二十九年度一年生)の中から参加希望者を募り、十名を第一回短期海外研修に派遣する予定です。参加希望者の数に関わらず、第一次、第二次選考を実施します。希望者は、募集要項をよく読んで、募集期間内に応募してください。

Point!

《news》

生徒海外短期研修の実施が決定

創立百二十五周年を二年後に控え、同窓会では記念事業を計画しています。そのうちのひとつが新たに決定しました。それが、「短期海外研修」です。

この事業は、現代のグローバル社会の中で、国際感覚を有するグローバルリーダーとなるべき人材を育成するためのプログラムです。これまで鶴丸高校が果たしてきた「有能な人材を輩出する」という使命を、よりグローバルな視点で実現したいという同窓会の思いが結実しました。

研修先は、アメリカ合衆国ニューヨーク市。生徒たちはアメリカの家庭にホームステイして現地の高校に通い、現地の学校で授業を受けます。また、コロンビア大学や国連の見学をします。研修期間は平成三十年三月四日から十日間(予定)。

①世界の中心、NYへ。
②十名、十日間、米高校を体験。
③費用は0円。同窓会が負担。